

## 2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2022年11月11日

上場会社名 元旦ビューティ工業株式会社  
コード番号 5935 URL <https://www.gantan.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 船木 元旦

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長兼渉外部長 (氏名) 松橋 昭博

四半期報告書提出予定日 2022年11月14日

TEL 0466-45-8771

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第2四半期の業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	6,254	29.3	450		472		297	
2022年3月期第2四半期	4,836	23.9	156		142		146	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	387.69	
2022年3月期第2四半期	190.64	

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	10,363	4,910	47.3
2022年3月期	9,237	4,677	50.6

(参考)自己資本 2023年3月期第2四半期 4,910百万円 2022年3月期 4,677百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		75.00	75.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				75.00	75.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	6.9	380	24.8	370	22.3	255	50.0	332.44

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	771,606 株	2022年3月期	771,606 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	4,726 株	2022年3月期	4,676 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	766,922 株	2022年3月期2Q	767,087 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。上記予想に関連する事項につきましては、添付資料2ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間は、ウイズコロナが進む海外では米国の2022年7～9月期GDPが前期比2.6%増となるなど欧米諸国は景気回復が一段と進むなか、国内においても経済活動が活発化し個人消費や企業の設備投資などが増加傾向にありました。その反面、世界的なインフレ抑制での金利上昇に伴う急激な円安やウクライナ情勢の長期化により国内でも物価が上昇しつつありました。

このような状況の中、当社は企業の設備投資や公共投資増加による受注の増加や、進行中である大型物件の現場も円滑に進行し前事業年度の遅れを取り戻すなど工事も順調に進捗いたしました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は6,254百万円（前年同期比29.3%増）となり、その内訳は製品売上高が3,358百万円（前年同期比29.9%増）、完成工事高（進捗工事も含む）が2,896百万円（前年同期比28.6%増）となりました。

また、市場の資源や燃料の価格上昇で当社原材料の取引価格も軒並み上昇しておりますが、多数の特許を取得した「PASTEM-2」や「雨どい」としての高い機能や意匠を持つ当社オリジナルの「元旦内樋」などの収益力のある製品販売や、既存製品についても、顧客へ高い機能性を訴求するなどの販売努力で収益の改善に努めました。その結果、損益面におきましては、営業利益は450百万円（前年同期は営業損失156百万円）、経常利益は472百万円（前年同期は経常損失142百万円）となり、四半期純利益は297百万円（前年同期は四半期純損失146百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ1,125百万円増加し10,363百万円となりました。その主な要因としては、売上の増加により売上債権が1,053百万円、契約済み物件用の材料購入により棚卸資産が370百万円増加した一方、現金及び預金が187百万円減少したことなどによるものです。

負債合計は、前事業年度末に比べ892百万円増加し5,452百万円となりました。その主な要因としては、仕入の増加による仕入債務が132百万円、短期借入金が815百万円それぞれ増加した一方、工事物件の前金である契約負債が172百万円減少したことなどによるものです。

純資産合計は、前事業年度末に比べ232百万円増加し4,910百万円となり、自己資本比率は47.3%になりました。

なお、2022年8月1日付けで減資を行い、資本金からその他資本剰余金へ1,166百万円の振替で資本金が100百万円、資本剰余金が1,166百万円となっております。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2022年5月16日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「第2四半期業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	851,432	664,346
受取手形、売掛金及び契約資産	1,586,717	2,737,958
電子記録債権	563,317	688,427
完成工事未収入金	443,671	220,684
製品	592,796	694,722
仕掛品	7,881	9,030
未成工事支出金	178,567	187,892
原材料	913,543	1,171,559
その他	169,772	100,284
貸倒引当金	△14,090	△12,620
流動資産合計	5,293,611	6,462,285
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	896,345	873,108
機械及び装置（純額）	285,752	268,835
土地	1,442,583	1,442,583
その他（純額）	45,627	46,393
有形固定資産合計	2,670,308	2,630,920
無形固定資産	229,368	199,046
投資その他の資産		
投資有価証券	802,200	827,400
その他	434,994	435,369
貸倒引当金	△192,526	△191,984
投資その他の資産合計	1,044,668	1,070,784
固定資産合計	3,944,345	3,900,751
資産合計	9,237,956	10,363,037
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	446,309	752,881
電子記録債務	1,560,291	1,289,366
工事未払金	216,916	314,202
短期借入金	885,000	1,700,000
未払法人税等	91,169	179,540
契約負債	175,118	2,641
製品保証引当金	40,565	45,933
工事損失引当金	1,697	—
その他	458,799	463,883
流動負債合計	3,875,867	4,748,449
固定負債		
退職給付引当金	520,531	525,705
役員退職慰労引当金	11,021	15,575
その他	152,553	162,500
固定負債合計	684,106	703,782
負債合計	4,559,973	5,452,232

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,266,921	100,000
資本剰余金	—	1,166,921
利益剰余金	2,955,551	3,195,363
自己株式	△18,072	△18,363
株主資本合計	4,204,399	4,443,920
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	473,583	466,884
評価・換算差額等合計	473,583	466,884
純資産合計	4,677,983	4,910,804
負債純資産合計	9,237,956	10,363,037

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	4,836,043	6,254,859
売上原価	3,460,087	4,255,949
売上総利益	1,375,955	1,998,910
販売費及び一般管理費	1,532,145	1,548,163
営業利益又は営業損失(△)	△156,190	450,747
営業外収益		
受取配当金	12,058	12,602
受取賃貸料	4,173	4,452
売電収入	6,336	5,103
その他	9,581	14,355
営業外収益合計	32,149	36,514
営業外費用		
支払利息	5,233	3,994
手形売却損	3,658	2,241
減価償却費	4,086	3,661
その他	5,374	4,527
営業外費用合計	18,352	14,425
経常利益又は経常損失(△)	△142,393	472,836
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△142,393	472,836
法人税、住民税及び事業税	13,502	197,456
法人税等調整額	△9,651	△21,952
法人税等合計	3,851	175,504
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△146,244	297,331

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

2022年6月29日開催の定時株主総会の決議に基づき無償減資を行い、2022年8月1日を効力発生日として資本金1,166,921千円を減少し、その全額をその他資本剰余金に振り替えております。

この結果、当第2四半期会計期間末において、資本金100,000千円、資本剰余金1,166,921千円となっております。

(会計方針の変更)

時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これによる四半期財務諸表に与える影響はありません。